

ごくまれに
現れます

“コッホ現象”について



BCG 接種の針痕は、普通は接種後 10 日前後たないと見えてきません。しかし、ごくまれに接種部位が下の図のような反応を起こすことがあります。

これは「コッホ現象」と呼ばれるものです。



1

接種後
2日



激しい変化が、
接種後 3 日くら
いまでに起こる
ことが多い

2

接種後
5日



変化が少し落ち
着いてきた

3

接種後
7日



針痕は日をおか
ず良くなっていく

4

接種後
48日



もうほとんどきれ
いになっている

コッホ現象の特徴 接種後3日以内の急激な変化（炎症・化膿など）と急激な治癒

もしコッホ現象が起こったら？

Point 1

変化に気づいたら、2～3日以内に必ず接種医を受診してください

この変化（コッホ現象）が出る場合、お子さんが知らない間に結核に感染している可能性があります。本当に結核にかかっているかどうかを、きちんと調べる必要があります。集団接種の場合や主治医と連絡が取れないときは、保健所（市区町村）にご連絡ください。ただし、救急外来を受診するほどの緊急性はありません。また現在、子どもが結核にかかる率はごくまれとなっているので、調べた結果、結核にかかっていないことも多いのです。あわてないでください。

Point 2

接種の2～4週間後には、腫れも落ち着きます

接種部位の皮膚が赤く腫れ、膿を伴う変化が見られる場合でも、ガーゼを当てるなどの処置をしなくても大丈夫です。接種後2～4週間後には針痕が残る程度に落ち着いてきます。

でも、
あわてなくても
大丈夫ですよ！

